

令和4年第2回 千葉市選挙管理委員会定例会会議録

1 日 時	令和4年2月24日(木) 午前10時00分～午前10時20分					
2 場 所	千葉中央コミュニティセンター 8階 千鳥・海鷗					
3 出席委員	委員長	大野 雄子	委員	田部井 宏明		
	委員	松戸 敏雄	委員	小松 由紀子		
4 出席書記	事務局長	石野 隆史	次長	清水 公嘉	次長補佐	宮本 寛
	主査	弘中 昭飛己	主査	鈴木 健司		
5 議 題	報告第 4 号	令和3年度明るい選挙啓発書き初めの審査結果について				
	報告第 5 号	令和3年度指定都市選挙管理委員会連合会委員長会議の結果について				
	報告第 6 号	議会内会派の異動について				
	報告第 7 号	広島市議会議員安芸区選挙区補欠選挙の選挙期日等について				
6 議事の概要	<div>(1)議題</div> <div>報告第 4 号 令和3年度明るい選挙啓発書き初めの審査結果について (報告第4号について、報告があった。)</div> <div>報告第 5 号 令和3年度指定都市選挙管理委員会連合会委員長会議の結果について (報告第5号について、報告があった。)</div> <div>報告第 6 号 議会内会派の異動について (報告第6号について、報告があった。)</div> <div>報告第 7 号 広島市議会議員安芸区選挙区補欠選挙の選挙期日等について (報告第7号について、報告があった。)</div> <div>(2)その他</div> <div>次回委員会について</div> <div>次回、令和4年第3回定例会の開会日は、3月24日(木)午前10時から開会することで決定した。</div>					

7 会議経過	<p>(要約)</p> <p>報告第4号について</p> <p>小松委員 「大変素晴らしい作品ばかりである。ただ、文字を書くだけでは選挙についての意識が変わるのか、少し疑問でもある。先生方からの一言、ちょっとしたアドバイスがあれば、子どもたちの意識が高まるのではないかと考える。」</p> <p>報告第5号について</p> <p>小松委員 「要望項目には投票者数の男女別集計の廃止や選挙公報の掲載申請期間の短縮とあるが、どのような内容か。有権者の権利を損なうような内容ではないということによいか。」</p> <p>事務局 「選挙公報の掲載申請について、一般的な選挙では選挙期日の公示又は告示日当日に申請するが、選挙種別によってはその翌日まで申請することができる。そうすると、その分発行が遅くなってしまうため、申請期間を2日から1日に短縮して早く選挙人へ配布したいというように、基本的には選挙人の方の利益となるような内容となっている。」</p> <p>小松委員 「男女別集計はどうか。選挙に関する男女の意識差というのは報道でも目にするが。」</p> <p>事務局 「選挙の管理執行上、男女別に集計する必要は特段ないということと、近年、男女別の表記は減少又は廃止の流れであり、性同一性障害の方への配慮の観点からの提案となる。」</p> <p>その他： 小学校模擬選挙について</p> <p>大野委員長 「先日、リモートで小学校の模擬選挙を行った。小学校の先生になる大学生が参加したが、大変勉強になったと言っていた。事前に集まってミーティングもできなかったが、自分で考えて、すごく前向きに楽しそうに取り組んでいたのも、これは小学生だけの啓発ではなく、大学生の啓発にもなっていると感じた。模擬選挙の様子はホームページに掲載したので、多くの大学生、高校生も見ると思う。大変有意義な内容であったので報告する。」</p> <p>田部井委員 「模擬選挙の題材は、いつもの3人の候補者が政策を主張するという内容か。役割ごとに政策の基礎となるようなデータや決めごとを作成しているのだが。」</p> <p>大野委員長 「内容はいつもと同じで、大学生が候補者役で参加した。事前に基本的な資料は貰っており、それを基に大学生がそれぞれ考えて、子どもが理解できるように、子どもたちに分かる言葉でスピーチを行った。このような取り組みが広がっていくとよいと考える。」</p>
--------	--